



建設中の新庁舎

大津町がもっと暮らしやすい町へ……………2

新型コロナ関連 議会からのメッセージ……………3



新型コロナウイルス関連

オンライン会議体制の導入に向けた取り組み

新型コロナウイルスの感染爆発を防ぐため、人の移動や接触の自粛が広く求められ、多くの企業や団体において、オンライン会議の導入が進んでいます。

大津町議会においても様々な事態を想定し、議会全員協議会においてオンライン会議の学習会をおこないました。また、広報委員会においても編集会議の事前打ち合わせをオンラインにて実施するなど、議会、委員会において様々な取り組みをおこなっています。



オンライン会議に関する議会全体での学習会



広報委員会のオンライン会議

議会広報編集特別委員会

議長・発行責任者 菅原 則雄
委員 山本 富二夫、山部 良二、三宮 美香
副委員長 金田 英樹
委員長 豊瀬 和久

編集後記

新型コロナウイルスが世界中に蔓延している中、広報委員会も編集会議をおこなう時には各議員はマスク着用など感染抑止を心掛けています。

今回は新たに、Zoom（ズーム）を使用して各議員が自宅オンラインによるビデオ会議を行いました。

議会だよりを通じて、町民の皆様にも議会活動がわかるように今後とも取り組んでいきます。

（山本）



この議会だよりは、リサイクル紙を利用しています。

この議会だよりは、リサイクル紙を利用しています。

↓ 皆さまの声をお寄せください！

切り取ってお出してください

郵便はがき

8 6 9 - 1 2 9 0

料金受取人私郵便

大津局
承認
503

差出有効期間
2022年5月14
日まで
(印刷部よりお送りください)

（受取人）
大津町大字大津1233番地
大津町役場 議会事務局
議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく際には、イモジや絵文字、ふりがなを省略する場合はあらかじめご記入ください。

□□-□□□□

ご住所

お電話 () - () - ()

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚 龍一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本 富一夫	山部 良二	三宮 美香	賛成 ○	反対 ●
大津町一般会計予算	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町国民健康保険特別会計予算	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町介護保険特別会計予算	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町後期高齢者医療特別会計予算	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町長等の給料の特例に関する条例の制定	-	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 早は早退

その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会

検索

詳細は
こちら

大津町議会HP会議録



新型コロナウイルス感染症から大切な命を守るために

新型コロナウイルス感染症の拡大により私たちの日常生活が一変しました。内閣総理大臣から出された「緊急事態宣言」は4月17日に全都道府県に拡大されました。大津町においても各種施設に使用の制限等が行われる中、町民の皆様には大きなご負担をおかけいたしております。今年のゴールデンウィークも「ステイホーム週間」に様変わりしました。これを前向きに考え、ご家族との絆を深めあう貴重な時間に振り替えられたのではないかとお察しします。テレビでは、有名なアーティストや憧れのスポーツ選手が、自宅から音楽の提供や自宅を取り組めるトレーニング方法を紹介してくれていることに勇気づけられます。どうか一人ひとりの大切な命を守るために、もうしばらく、ご協力とご理解をお願いしたいと思います。

なお、町議会においては、町が新型コロナウイルス感染症対策に全力で専念できるように、最大限の協力、支援をしていきます。3月に開会しました第1回定例会では、マスクの着用及び換気や消毒の徹底など、様々な感染症防止策を講じた上で開催し、国へ「新型コロナ感染症対策に関する意見書」を提出いたしました。

今後も、町と連携しながら、議員16名全員が心をひとつにして、町民の皆様の笑顔の日常が戻ってくるその日まで、全力で取り組んでまいります。

よろしくお願い申し上げます。

大津町議会 議員一同



一般会計予算175億3800万円 2020年度予算が成立しました

3月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で3月5日から18日までの14日間の会期で開きました。

町長提案の一般会計をはじめ7会計の予算案や、条例の改正など47議案を審議し可決しました。最終日には委員会発議による国への意見書案と追加議案として4議案を審議し、議決並びに副町長に杉水辰則氏を選任することに同意しました。一般質問には、4人が登壇しました。



大津町がもっと暮らしやすい町へ 一般会計の主な事業

子育てを支援

▶大津小学校増築事業	4億4445万円
▶子ども医療費助成	1億7299万円
▶待機児童対策事業	1059万円

便利なインフラ

▶乗合タクシー運行補助金(エリア拡大)	2100万円
▶防犯灯・街灯整備事業	2351万円
▶カーブミラー、区画線整備事業	718万円

熊本地震復興

▶住宅耐震改修事業補助金	1480万円
▶地盤改良補助金	300万円
▶ブロック塀撤去補助金	200万円
▶地域支え合い事業	2433万円

健康づくりを促進

▶風しん抗体検査	425万円
▶不妊治療費助成事業補助金	250万円
▶ピロリ菌検査	69万円

高齢者福祉に全力

▶高齢者外出支援サービス事業	474万円
▶日常生活用具給付事業	743万円

万全な防災減災へ

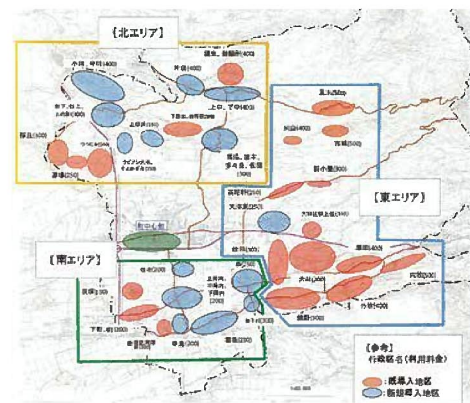
▶防災情報システム設置(新規)	1億881万円
▶消防倉庫設置(新規)	2109万円
▶貯水機能付給水管設置(新規)	1000万円

交通ネットワークの

**乗合タクシーの
利便性向上にむけて**

Q 乗合率を高めるには先進的な配車システムの導入が必要では。

A 今のところ配車システムの導入は考えていない。今後、利用者数の推移を踏まえ検討する。



大津町乗合タクシー対象地域図

**持続可能な公共交通を
目指して**

Q 中部地区の巡回バスの検討は。

A 検討は進めているが、今年度中の決定は難しい。今後、乗合タクシー拡大の影響も見ながら検討する。

意見 町民グラウンド周辺には高齢者も多く、高低差もあるため公共交通の乗り入れの検討を求める。



乗合タクシー

**令和2年度、
まちづくりの取り組みは**

Q まちづくり懇談会での意見を通して、地域の課題解決は進んでいるか。

A 地域から声の上があった高齢者の買い物支援についてはJAの移動販売が北部地区で始まった。他の地区でも移動販売を望む声が多いため範囲拡大を視野に入れている。



JAの移動販売

持続可能な公共 再構築を

総務
委員会
レポート

**災害時の初動や
防災対策は**

Q 新庁舎とともに建設する防災倉庫の位置は適切か。

A 緊急車両の早急な出動が可能のように道路に面した場所に予定している。

意見 災害時の対策は重要だが景観を含めた検討を求める。



現在の消防倉庫(役場)

**熊本地震
創意工夫事業
について**

Q 復興基金の活用の方性は。

A 被害者のきめ細やかなニーズに対応するため、県から指導を受け、被災者の支援など様々な復興事業に対しルールに基づき事業を展開していく。



基金を活用し、復興した片俣菅原神社

**部落差別等撤廃
条例改正**

Q ヘイトスピーチやLGBTがクローズアップされている。

Q 差別は多様化していると思うが、部落差別だけと誤解されるのではないか。

A 今回の改正は条例に差別解消に関する三つの法律を追加し、あらゆる差別をなくす取り組みを推進するための改正である。



経済建設 委員会 レポート

肥後おおづ 情報発信・地域イベント



菊陽町 新工業団地予定地

意見 中九州横断道路の整備が進むので、民間と協議し迅速に工業団地の開発を進めてほしい。

A 民間主導で工業団地を造成し、町は道路整備など社会資本整備を支援する方向で進めている。現在、町の受け皿は確保されているという認識。

Q 合志市と菊陽町が新たな工業団地整備計画を進めている。大津町の計画は。

企業誘致

観光協会の状況 連携・観光振興コンベンション



からいもフェスティバル

意見 ホームページの観光サイトをより魅力あるものと改善を求める。

2 地域イベント連携について
カルチャーフェスタ、おおづ日曜日、ライトアップイベント（夜のフットパス）、熊本市びるす広場で開催の物産品フェアに出店。

1 情報発信について
フェイスブック9件、HP 6件、新聞掲載、フリーペーパー掲載、日曜日誘客チラシなどで、町外からの来場者が増加している。

観光協会についての報告

A 町内在住の方には直接伺い、町外の方には文書でお願いをしている。今後も町道の安心安全のために管理していく。

Q 町道に民有の立木が覆い被さっている場所がある。町から伐採を促す通知等を行っているのか。

町道を立木が覆う



並木が町道を覆う

A 捕獲隊等の関係団体とも協議し、要綱要領を整備する。

Q 事故の懸念もある。一般利用者を完全規制するのは困難ではないか。

A 近隣市町村では熊本市のみ首長の裁量権を認めている。都市公園条例の運用及び改正は、近隣市町村と調査・研究を進める。

Q 都市公園でも箱屍の設置は出来ないのか。

有害鳥獣駆除

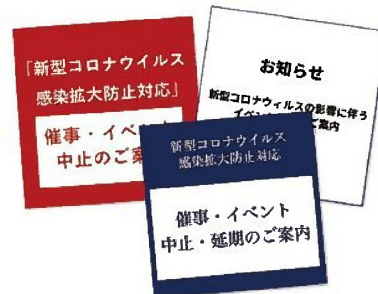


高尾野森林公園

Q 新型コロナウイルスの影響でイベント、出店者は経営的に厳しい状態である。今後の対策など考えているのか。

新型コロナウイルスの影響

A イベントは、各実行委員会で見ながら検討されると思う。
地域経済への影響を最小限にとどめるように、町としても提案しながら進めていきたいと思う。



Q 清正公園公園のトイレ改築について、金額が高いがなぜか。

トイレの改築

A 現在3か所あり、すべての解体を含んでいる。1ヶ所に集約すること、便器の数も増えたことが影響している。解体は、1棟当たり300万円の3棟で900万円を計上している。



清正公園公園トイレ

ウイルスへの対応

【新型コロナウイルス関連】

健康保険課での対応は

健康保険課の対応と今後の見通しは。

まず、住民に対して基本的な感染対策について、様々な媒体を活用しながら周知を行っている。

今後、国から「緊急事態宣言」が発令された場合、法改正に適應できるよう、準備をしている段階。



感染対策でビニールを張った役場窓口

また、感染対策用の物品等については、調達困難になっている状況を踏まえ、町の備蓄マスクを高リスクと言われる高齢者や基礎疾患のある方に対して約1万2千枚を配布した。マスクは予備費を活用し発注しているが、納品の目途がたっていない。



配布されたマスク

消毒液と簡易マスクの作り方

町に感染者が発生した場合の対応は。

菊池保健所管内で感染者が発生した場合、県から町に連絡があるが、原則として個人情報提供されない。住民に対しては感染情報の発信と感染対策の強化について周知する。

感染者が園児や児童、社会福祉施設の入所者等の場合、施設関係者への感染拡大防止の観点から、本人または保護者、家族の同意を得たうえで個人情報が町に提供される。住民等に対する情報発信の内容については県と協議のうえ、ケース毎に判断する。

※3月の議会時点での会議の内容です。

保育士確保と待機児童解消

保育士が確保できないと待機児童解消につながらない。昨年度の成果と今後の目標は。

保育補助者を雇用するための強化事業は10園要望があり6園の実施。保育体制強化事業は9園から要望があり5園の実施。人員確保が難しい。今後、町で実施する保育園見学ツアー参加者や保育園実習生にも声をかけ人材確保につなげたい。

新型コロナ

ゴミ袋の在庫は

店頭で一時期品薄になっていたが、在庫は大丈夫か。

在庫は確保されている。発注は1年間分を見越して作成するが、現在は通常の2倍以上の数量を出荷し対応している。

業者の生産拠点は中国だが、新型コロナの影響で他の地域に拠点を移して生産できるように準備中と聞いている。又、国内メーカーにも追加生産を依頼している。



ゴミ袋の陳列棚

町施設の名称

町の施設の名称は町民から一番わかりやすい呼び名で。

大津町町民交流施設は、町民から親しまれている「オークスプラザ」を通称として改正。生涯学習センターは現行のまま。



黄色と緑の極小サイズ作成予定

また新たに、単身や少人数世帯、高齢者の方がゴミ出しに苦勞しないように資源物（緑色）、不燃・埋立ごみ（黄色）の極小サイズを作成する。店頭にならぶのは10月以降の予定。



町内の幼稚園

Q この非常事態に、町民の命と人権を守り抜く取り組みを

A 新型コロナウイルス感染防止のために全力を尽くす

LINE OFFICIAL ACCOUNT



大津町LINEアカウント
QRコード



豊瀬 和久議員



Q 町では、ホームページや防災行政無線、からいもくん便り、回覧文書などで情報を発信しているが、情報拡散の規模や即時性を考えると、LINEなどのSNSによる情報発信と情報収集を今のような非常事態にこそ行うべきではないか。

A 町では、ホームページや防災行政無線、からいもくん便り、回覧文書などで情報を発信しているが、情報拡散の規模や即時性を考えると、LINEなどのSNSによる情報発信と情報収集を今のような非常事態にこそ行うべきではないか。

Q 新型コロナウイルスへの対応について

A 国や県と重複しない支援策を検討する

永田 和彦議員



持続化給付金
に関するお知らせ

持続化給付金とは？
感染拡大により、特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支援し、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金を支給します。

給付額
法人は200万円、個人事業者は100万円
※ただし、昨年度1年間の売上増加分は上限となります。

給付金の計算方法
前年度の売上（事業収入）×（前年同月比△50%増の売上増加分）
※前年度売上増加分は、前年度12月までの売上増加分を指します。

支給対象
●新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が前年同月比で50%以上減少している者。
●資本金10億円以上の大企業を除き、
●中小企業、中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者を広く対象とします。
また、医療法人、農業法人、NPO法人、社会福祉法人など、会社以外の法人についても幅広く対象となります。

その他の質問

・役場機能の充実に欠かせない取り組みとは（時間短縮のため6月議会に持ち越します）

Q 小規模企業や商店、小売業や飲食店などその日の売り上げが翌日の回転資金になることが多く、こういう事業所に対するフォローは急を要する。我々議員、役場の職員などは、こういう状況下でも当たり前に報酬や給与を支払われる。

A 町内企業での経済活動や雇用へのさらなる影響を食い止めるため、中小企業及び農林漁業者の支援策として、熊本市と同様に県資金連携の利子補給を含む補正予算の追加提案を予定している。今後、県の支援については、国、県の情報収集はもとより、金融機関、商工会、JA、企業連等の町経済団体との連携により、迅速な情報収集と正確な実態把握に努め、国、県の支援策と重複せず、公平性と効果の見込める支援を検討していく。

（町長）

一般質問

町政を問う 3月定例会

4議員が質問に登壇

1. 荒木 俊彦議員 2. 豊瀬 和久議員 3. 永田 和彦議員 4. 金田 英樹議員



大津町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを問うのが一般質問。議員は政策提言も含めて、質問することができ、内容は自由です。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせいたします。また、3月定例会においては質問時間を一人30分に短縮しておこないました。

Q ミルクロードの安全対策・歩道の設置は国と県の責任

A 情報公開をすすめ、安全対策を国・県に強く要望する

荒木 俊彦議員



国道57号北側ルート概略図(荒木議員作成)

Q 熊本地震により国道57号が不通になり、ミルクロードが国道代替道路に指定されている。57号北側ルートは、ミルクロード入り口から高尾野の交差点まで道路設計が大きく変更されている。

A 57号北側ルートは、近隣住民の皆様のご協力とご理解をいただきながら施工をすすめ、完成予想図など可能な情報を国交省熊本河川国道事務所と協議し、新年度に広報を予定している。現在ミルクロードの歩道は、57号交差点付近だけで、中核工業団地入り口まで歩道は未整備。地震前から交通量が多い箇所でもあるので、北側旧ルートを施工している国と管理者である熊本県に歩道など改良要望を強く求めていく。

（町長）

佐賀県伊万里市議会と佐賀県多久市議会から 「議会だより」の研修視察を受け入れました

県の広報コンクール2期連続での最優秀賞、全国広報コンクールでの奨励賞受賞により、昨年度だけで9つの市町村の視察研修を受け入れました。

今回も活発なご意見があり、我々としても大変多くの学びがありました。こうした学びを生かしながら、より一層見やすく伝わる議会だよりづくりに努めます。

より伝わる議会だより
を目指して



○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイデア」があればお寄せください。

活発な

質疑

応答

意見

の数々

Q 新型コロナウイルス 様々な想定と対策が必要

A 様々な事態を想定して取り組んでいく



金田 英樹議員



Q 感染防止に努めることは当然として、自粛等により発生し得る様々なケースを想定した対応が必要である。

①職員が感染した際の住民サービスの維持
②外出自粛の長期化による健康状態低下への対策
③休校長期化による学習の遅れへの対応
④農工商業者等への支援

A ①大津町新型コロナウイルスエンザ業務継続計画を基に進める。(町長)
②町HPを活用した介護予防の啓発を行い、家庭で活用いただけるよう努

めたい。筋力維持方法などは生涯学習情報誌の3月号でも紹介している。(町長)

③学力の保証をどう行うかは、保護者の負担をどうするかと同様に重要な事項。随時各学校と連携し、対応を進めている。(教育長)

④農工商業者への支援は、町独自の支援も十分検討し、町商工を立ち上げていくことが我々の一番の義務だと考えている。関係機関の状況を把握しながら、しっかりと取り組みたい。(町長)

総務委員会

1/31(金) 大津町消防団との意見交換会 団員不足先進事例を参照し検討を



大津町消防団との意見交換会

消防団より
・地域によって課題が異なる。
・出初式などでも参加者が半数以下という現状。
・地域によって活動に温度差がある。
※その他多数意見あり

委員会より
どの地域も課題があり団員の意見を取り入れ変えていかなければ団員の確保には繋がらないし、今後は定員数の見直しは必須ではないか。

消防団より
・活動実績が無い団員について以前のように強く参加を求めることは難しくなっている。
・30年以上、在籍している団員もいる。勇退していただきたいが残ってもしっかりしている現状。

委員会より
視察した三重県いなべ市では、団員の報酬金額の見直しやオートマ限定免許からの解除費用の補助等を行っている。

消防団より
団員数を地域の現状に則した見直しが必要では。

委員会より
地域により団員不足の現状がある分団の統合や機能別消防団導入等の先進事例を参考にし課題を解決していかねばならない。